

平成30年度 病虫害防除技術情報 第6号

平成30年8月31日
大分県農林水産研究指導センター
農業研究部

イチゴ苗ハダニ類（ナミハダニ、カンザワハダニ）の防除徹底について

病虫害対策チームが8月中下旬に行った巡回調査では発生圃場率77.8%（平年：23.8%、前年：20.0%）、寄生株率13.3%（平年：3.6%、前年：2.8%）と平年に比べ高い状況でした（図）。

防除を徹底し、本圃への持ち込みを防いでください。

1. 発生の状況

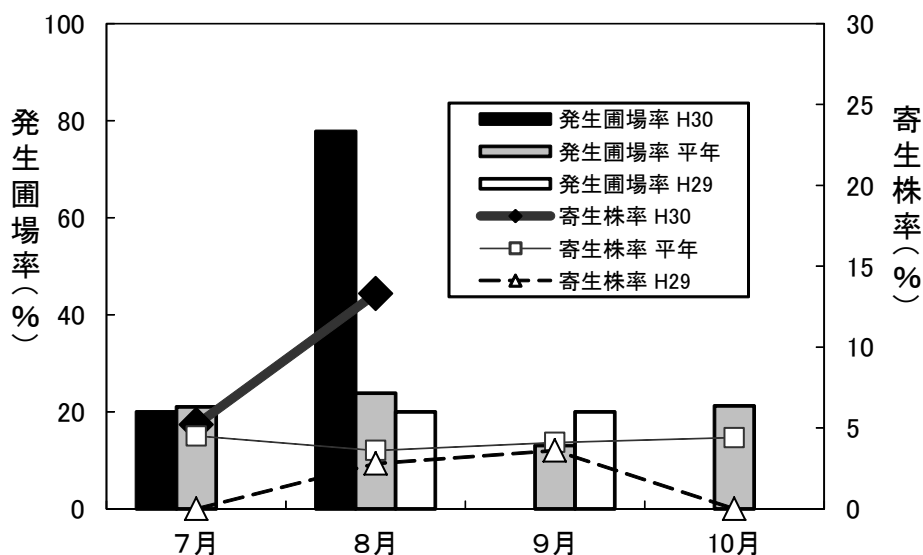


図 病虫害発生予察巡回調査におけるハダニ類の発生推移

2. 防除対策

- (1) 本虫の増殖力は高いため、早期発見、早期防除に努める。
- (2) 本虫は下葉の裏に多く生息する。気門封鎖剤は薬液が直接虫にかかると効果が無いため、薬液が葉裏に十分にかかるように丁寧に散布する。また、短期間に複数回散布すると効果が高まる。
- (3) 定植直前に、成虫に対して有効な薬剤の散布およびモベントフロアブルの灌注処理を組み合わせて実施することにより、本圃への持ち込みを防ぐ。
- (4) 使用薬剤は大分県農業研究部病虫害対策チームホームページ内にある「大分県主要農作物病虫害及び雑草防除指導指針」を参照し、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守する。

(ホームページアドレス <http://www.jpnpn.ne.jp/oita>)

